

今後の課題（中間報告書より）

◆ 福祉人材の育成・確保

障害児・者と家族の地域生活を支える障害福祉サービスを一層充実させていくため、サービス提供の現場で支援を担う福祉人材の育成・確保が課題です。人材の掘り起こし、新たな資格者の養成による量的拡大と、強度行動障害、医療的ケアなどを含めた支援への専門性の向上によるサービスの質の向上を進めていくことが必要です。あわせて、事業所を超えた人材同士のネットワークやサポート体制による離職防止や定着を進めることも課題です。

「調布市福祉人材育成センター」概要

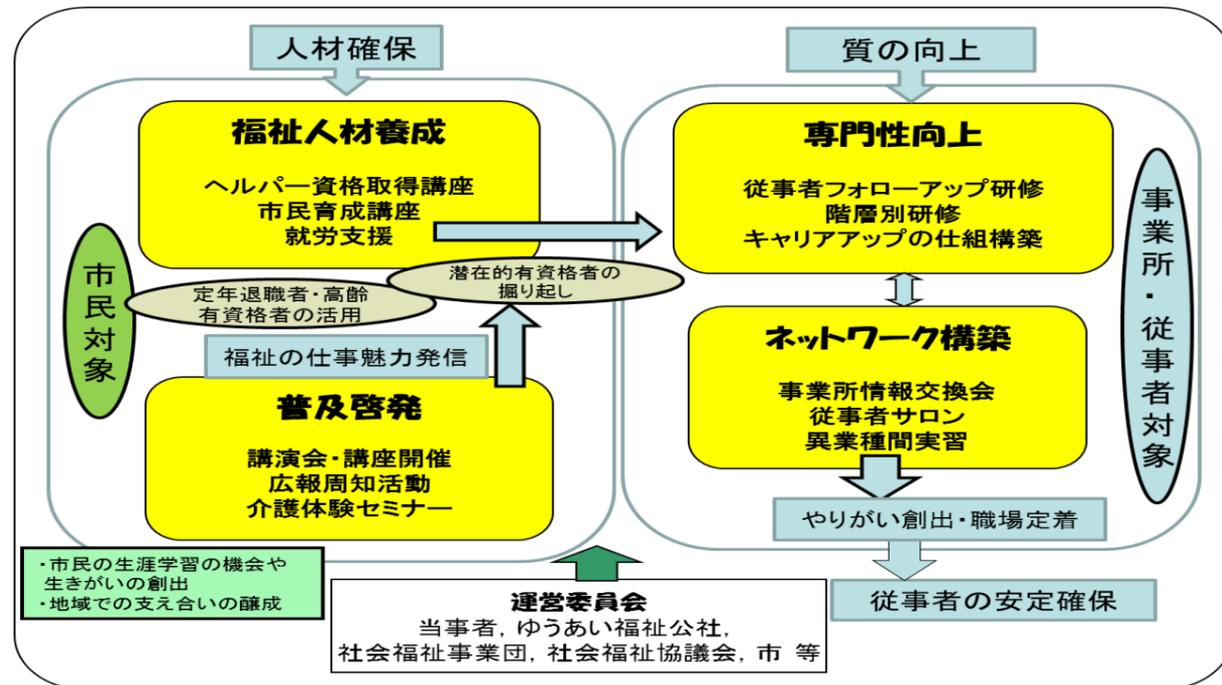
(1) 設置の経過

平成25年度まで 調布市障害者地域自立支援協議会（ドルチェワーキング）での検討  
⇒「障害者の在宅支援」について検討し、市内の事業所訪問やアンケート調査の実施を経て、福祉人材の確保・育成の課題の整理及び課題解決に向けた議論の実施

- 障害者支援に対するホームヘルパーの知識不足
- 小規模事業所においては、研修機会確保のための体制整備が困難
- 事業所同士、ヘルパー同士の連携・ネットワーク構築の必要性
- 一般市民の参入を目的とした研修の必要性
- 障害当事者が参画する福祉人材育成の必要性

平成27年4月 「調布市福祉人材育成センター」の設置（調布市こころの健康支援センター内）  
調布市社会福祉協議会が設置・運営（調布市が運営費を補助）  
学識経験者、関係機関、各ネットワークの代表、当事者などで構成する「調布市福祉人材育成センター運営委員会」を設置

(2) 事業概要



「調布市福祉人材育成センター」事業実績

(1) 福祉人材の養成

福祉で働くための資格の取得を促進し、市内で活躍できるよう情報提供や就職説明会を行う。

○ 資格研修

資格種別	H30	R1	R2	R3	R4
介護職員初任者	20	19	中止	14	7
同行援護従業者（一般・応用）	32	32	中止	中止	32
行動援護従業者	25	20	24	23	16
重度訪問介護従業者	9	7	7	8	8
知的障害者移動支援従業者	38	27	16	43	27
医療的ケア支援者（特定の者）	4	7	4	11	8

○ 就労支援

資格種別	H30	R1	R2	R3	R4	
福祉のしごと 相談・面接会	参加法人	14	12	13	10	13
	相談者	30	59	38	59	44
	新規就労者	3	12	7	10	15

(2) 専門性の向上

福祉職としての経験年数や職層に応じた階層別研修や職員の専門性を向上するための研修を行う。

資格種別	H30	R1	R2	R3	R4	
階層別研修	49	95	96	63	67	
テーマ別研修	対面開催	125	147	239	48	156
	オンデマンド配信	—	—	28	1,152	990

(3) 市民参入に向けた普及啓発

福祉サービスに関する理解を広め、地域の中に様々な形で、福祉と関わる人材を増やす。

- ・ふくしの窓（調布市社会福祉協議会広報誌）、市報等への研修案内掲載
- ・センターホームページに研修案内、市内事業所の求人情報を掲載
- ・「ちょうふ福祉ヒューマンライブラリー」（※）の開催  
（※）人を「本」に見立てて「読者」に貸し出す図書館。障害のある方が経験や想いを物語のように語り、少人数で対話することで理解を深めるもの。

(4) 事業所間・職員間のネットワーク形成

「ちょうふ福祉実践フォーラム」の開催により、市内福祉事業所で働く職員の専門性の向上と職員同士のネットワーク形成を目指す。

- （令和2年度）「多様な人たちが生きていける社会とは～新型コロナウイルスがもたらしたもの～」（オンデマンド配信）
- （令和3年度）「居場所をめぐる多様な福祉のありかた」（オンデマンド配信）
- （令和4年度）「今こそ福祉現場で性教育とジェンダー平等について考える」